

お祝いのメッセージ

宮崎県立看護大学の卒業生、修了生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。今、胸中には、一抹の寂しさや充実感、新たな生活への夢や希望など様々な感慨が去来していることと存じます。

また、今日まで皆さんを温かく見守ってこられました御家族、並びに熱心に指導や相談にあたられた先生方におかれましても、この佳き日を迎えられましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

さて、本県において新型コロナウイルスの感染者が確認されて2年が経過しましたが、この2年間は、まさに新型コロナとの戦いであり、特に看護職を含む医療関係者の皆様には、昼夜を分かたず、日々立ち向かっていただいております。

また、皆さんがこれから従事される医療・看護の分野においては、この新型コロナ対策はもとより、人口減少に伴う高齢化が進行していく中で、人材の確保・育成や、より高齢者のニーズに沿った「地域包括ケアシステム」の構築など、解決しなければならない課題が山積しております。

こうした現場の様々な課題に対応し、地域からの要請に応える医療体制を更に充実化させていくためには、若い皆さんの持つ、柔軟な発想や行動力、そして豊かな想像力が何よりも期待されているところでもあります。

これから皆さんは、現場の最前線へ踏み出され、様々な困難に直面することもあるかと存じますが、自らの力を信じて、この県立看護大学の卒業生、修了生としての誇りを胸に、立派な看護職の一人として、また社会人として末永く活躍していただきますよう、心から念願いたしております。

結びに、卒業生、修了生の皆さんをはじめ、本日御出席の皆様方の御健勝、御多幸と、宮崎県立看護大学の今後ますますの御発展を祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

令和4年3月16日

宮崎県議会議長 中野一則